

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	キャリア知識 I		科目コード	28150301		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	40	4	無
授業の概要・目的	<p>日本で社会人になることを目的とし、そのために必要なビジネスマナーと、就職試験のSPIに向けた基礎学力の定着を計る。</p> <p>テキストで日本のビジネスマナーを学習し、すららネット日本の中学レベル日本語、数学の習得を目指す。</p>					
到達目標	<p>日本で働くために必要な日本の習慣やマナーについて理解し、実践できる。</p> <p>就職試験のSPIなどの学力試験に対応できる。</p>					
評価項目	<p>期末試験(95%)、出欠席(5%)</p>					
評価基準	<p>テキストも単元終了ごとに確認テストを行う。</p> <p>期末試験はすららネットの内容とテキストの内容の両方から出題する。</p>					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	<p>ビジネス基礎 I II</p> <p>キャリア知識 II</p>					
授業計画	<p>第1章 ビジネスマナーの基本</p> <p>第2章 社内のビジネスマナーとルール</p> <p>第3章 電話のマナー</p> <p>第4章 対応のマナー</p> <p>第5章 ビジネス文書の基本マナー</p> <p>第6章 慶弔・贈答・会食のマナー</p> <p>第7章 国際ビジネスマナー</p>					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語知識 I A			科目コード	28100501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験N2レベル相当の漢字・語彙を習得することを目的とする。</p> <p>日本人と同等に就職するため、日本人高校卒業程度の漢字を身に付ける</p>					
到達目標	日本社会で働く上で必要なレベルの日本語の語彙、文法を場面や状況に合わせて表現できる。					
評価項目	期末試験(75%), 語彙テスト・確認テスト(20%), 出欠席(5%)					
評価基準	<p>語彙テスト・確認テスト: 各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。</p> <p>期末試験: N2レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。</p>					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニングN2」アルク出版					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 言語知識 I B 言語知識 II A II B					
授業計画	Unit1 名詞A Unit2 動詞A Unit3 形容詞A Unit4 名詞B① Unit4 名詞B② Unit5 カタカナA Unit6 副詞A+接続詞 Unit7 名詞C Unit8 動詞B Unit9 カタカナB Unit10 形容詞B Unit11 名詞D Unit12 動詞C Unit13 副詞B+連体詞					

事前事後学習	

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語知識 I B			科目コード	28100601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	日本語能力試験JLPTN2取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通じた、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、コミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	様々なトピックの読解問題を通して、グループワークで、文章読解力と日本語のコミュニケーション力を身につける。					
評価項目	期末試験(75%),確認テスト(20%),出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:テキストの読解問題から出題					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	必ずできる！ JLPT読解N2					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 言語知識 I A 言語知識 II A II B					
授業計画	STEP2 Level3 ウォーミングアップ Level4 練習問題					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	通訳Ⅲ			科目コード	28110701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	<p>日本で就職する上で必要な文章力、表現力、会話力身につける。敬語の意味や使い方を学びながら実際の日本のビジネス社会に必要な文章や会話で表現できるようにする。 明確なポートフォリオとして学内新聞の発行。 また、日本人学科の学生との交流授業で、日本語を理解し、自分の意見や考えを日本語で伝え、グループで発表できるようにする。</p>					
到達目標	<p>日本での就職に必要な文章力を身につける。敬語の意味や使い方を学びながら、日本のビジネス社会で必要な文書を書けるようにする。日本人学科との合同授業において、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行って文書を作成し、発表する。</p>					
評価項目	<p>期末試験(文章検定3級問題)(95%)、出欠席(5%)</p>					
評価基準	<p>新聞作成の内容、合同授業の発表、文書検定過去問の点数からも評価を行う。 期末試験は文書検定4級レベルの問題より出題し、その試験結果により判定し評価する。</p>					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	<p>文章検 公式テキスト3級 文章カステップ3級 話す・書くにつながる！日本語読解</p>					
関連科目	<p>言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳Ⅰ ⅡⅣ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB 実践ビジネスコミュニケーションⅠ Ⅱ</p>					
授業計画	<p>第1章 語彙・文法 第2章 資料分析 第3章 文章読解 第4章 手紙文 第5章 意見文 まとめ</p>					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	CAD演習Ⅲ			科目コード	28132101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	JIS機械製図の手法を説明しながら、簡単な機械要素の製図を通じて、物体表現の方法と2次元CADの特徴および基本的な操作法を実習によって習得することを目的とする。					
到達目標	2D CADを使って、実際の業務で通用する図面を読む力、描く力、空間認識力を身につける。					
評価項目	期末試験(55%)、課題提出(40%)、出席率(5%)					
評価基準	課題提出:課題制作の提出により判定し評価する。 期末試験:2D CADの基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	高森 保旨			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	2026 年度版CAD利用技術者試験2次元2級・基礎公式ガイドブック 日経BP					
関連科目	CAD演習Ⅱ(3D) CAD演習ⅣⅤ(2D)					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 CADシステムの知識と利用 2. 第2章 CADシステムのプラットフォーム 3. 第3章 CADシステムの関連知識 4. 第4章 製図の知識 5. 第5章 図形 6. 2級サンプル試験問題 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	パソコン演習Ⅲ			科目コード	28160301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	Excelの基本的な操作(データ入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数)について学び、Excel検定3級合格レベルまで引き上げることを目的とする。					
到達目標	社会人としての標準レベルの関数や図表を使いこなし、Excel3級を取得できる。					
評価項目	期末試験(95%)、出席席(5%)					
評価基準	期末試験:Excel3級に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	例題30+演習問題70でしっかり学ぶ Excel(技術評論社)					
関連科目	パソコン演習Ⅱ(Excel/PowerPoint)					
授業計画	1. 1章 Excelを始める前に 2章 Excelをはじめよう 2. 3章 関数を使って計算しよう 3. 4章 見やすい表に変更しよう 4. 5章 グラフ機能でよりビジュアルに 5. 6章 ちょっと便利な関数 6. Excel検定 練習問題 7. Excel検定 模擬問題					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	アルゴリズム概論			科目コード	28131701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	20	1	無
授業の概要・目的	プログラムの流れを考え、疑似言語を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。					
到達目標	基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方を身につけることを目的とする。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。					
評価項目	期末試験(95%)、出席席(5%)					
評価基準	基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方が身につけられているか、また論理的思考力を問う記述試験を実施し、評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	「情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造」(株)ウィネット					
関連科目	C言語プログラミング演習 I Javaプログラミング演習 I					
授業計画	1 アルゴリズム入門 2 流れ図の基本パターン 3 疑似言語の基本パターン 4 計算のアルゴリズム 6 配列の操作 7 問題演習 8 確認テスト					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	経営マネジメント概論Ⅱ		科目コード	28140401		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	20	1	無
授業の概要・目的	組織運営に必要なマネジメント理論と意思決定の基本構造について理解し、企業活動における課題を分析し適切な行動を選択できるようになる。					
到達目標	マネジメントの基本概念や主要理論を説明でき、組織内での役割や意思決定の流れを理解したうえで、課題に対する適切な判断と行動を選択できる能力を身につける。					
評価項目	期末試験(85%),提出物(10%),出席率(5%)					
評価基準	期末筆記試験により、マネジメント理論の理解度、用語説明の正確性、事例に基づく判断力および思考プロセスの妥当性を総合的に評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	企業の経営戦略室および医療法人経営企画室にて業務を行う。					
テキスト・参考文献	ベーシック+ 経営学入門					
関連科目	経営マネジメント概論Ⅰ 経営学					
授業計画	1.マネジメントの役割と全体像 2.組織と経営の基本構造 3.経営資源とその配分 4.経営戦略の基礎 5-6.外部環境分析(市場・競争) 7-8.内部環境分析(強み・弱み) 9-10.意思決定のプロセス 11.リーダーシップ理論 12.モチベーション理論 13.コミュニケーションと組織行動 14.人的資源管理の基礎 15.業務管理とPDCAサイクル 16-17.問題発見と課題解決手法 18.ケーススタディによる総合理解 19-20.総復習と試験対策					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	コンピュータシステムⅡ			科目コード	28130201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	コンピュータシステムⅠで基本原理や基礎技術について学習した内容を、問題演習を繰り返すことにより理解を深め情報処理検定3級の取得を目的とする。					
到達目標	情報処理検定3級の範囲の基礎を理解し、問題を解くことができる。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: 情報処理3級の問題に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論 (シラバス9.0対応) システム開発と情報技術(シラバス9.0対応) IT戦略とデータ利活用(シラバス9.0対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅢ					
授業計画	1. 基礎理論 2. コンピュータシステム 3. 技術要素 4. 開発技術 5. ビジネスインダストリと法務 6. 練習問題					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	労務管理Ⅱ			科目コード	28140201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	労働条件や雇用管理に関する基本知識と法的枠組みについて理解し、働き方や職場環境の課題を把握し適切な行動や判断ができるようになる。					
到達目標	労働時間・賃金・雇用契約など労務管理の基本事項を説明でき、労働関係法令に基づき自身の働き方や職場の課題を整理し、適切な判断や対応を選択できる能力を身につける。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末筆記試験により、労務管理に関する基礎知識の理解度、用語説明の正確性、法令に基づく判断力および具体的事例への適用力を総合的に評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	労務管理Ⅰ 貿易実務Ⅰ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労務管理の役割と全体像 2. 労働契約の基本と成立要件 3. 労働時間管理の基礎 4. 賃金の構成と支払い原則 5. 休日・休暇制度の理解 6. 社会保険の基礎知識 7. 安全衛生管理の基本 8. 就業規則の役割と内容 9. ハラスメント防止と対応 10. メンタルヘルスと職場環境 11. 多様な働き方(正社員・非正規) 12. 外国人労働者の労務管理 13-14. 労務トラブル事例と対応方法 15-17. 自身の働き方の整理と課題分析 18-20. 総復習と試験対策 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	JavaScript演習			科目コード	28131601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	JavaScriptおよびjQueryの基本文法を学習しWebサイトに自動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作できることを目的とする。					
到達目標	JavaScriptの基本的な文法を修得し、ブラウザの表示を動的に変更する基本的なアプリケーションを作成することができるようになる。					
評価項目	期末試験(65%)、制作物(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	<p>制作物: JavaScriptを使ったページを作成しプレゼンテーションを行い、アウトプットする。その表現結果により評価する。</p> <p>期末試験: JavaScriptの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。</p>					
担当教員	伊藤 宏一郎			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして7年間IT企業に従事					
テキスト・参考文献	いちばんやさしいJavascriptの教本					
関連科目	Webサイト制作演習Ⅲ(HTML,CSS)					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.準備:プログラムの作成準備 2.基礎: Javascriptでプログラムを書く 3.基礎: ブラウザにおけるユーザー操作に対応する 4.演習: フォトギャラリーを作成する 5.発展: JQuery/WebAPIを活用する 6.実習: サンプルを見本に制作物を作成する 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	C言語プログラミング演習 I			科目コード	28130501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	I で学んだデータ型、標準入出力、制御構造、配列・文字列を利用した文法、記述法を問題演習を繰り返すことにより理解を深めC言語検定3級の取得を目的とする。					
到達目標	サーティファイ主催「C言語プログラミング能力認定試験3級」に合格できる力を養う。I で学んだプログラミング技術をさらに磨き、学内プログラミングハッカソンで、日本人学科(情シス、情スペ)の学生と同等に勝負できる力を身につける。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: C言語3級の問題に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	若林 潤一			非常勤		
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経てWEBサービス会社の社長COOとして従事した後独立。Webシステムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。					
テキスト・参考文献	C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 サーティファイ 情報処理試験合格へのパスポート Cプログラミング ウイネット発行					
関連科目	Javaプログラミング演習 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 1回目 2. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 2回目 3. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 3回目 4. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 4回目 5. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 5回目 6. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 6回目 7. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 1回目・2回目抜粋 8. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 3回目・4回目抜粋 9. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 5回目・6回目抜粋 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	簿記演習 I			科目コード	28141101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	企業活動における取引記録の仕組みと簿記の基本原則について理解し、事務職で必要となる仕訳・帳簿作成・決算処理を正確に行い、数値をもとに状況判断できるようになる。					
到達目標	簿記の基本概念および日常取引から決算までの一連の流れを説明でき、仕訳記入・帳簿転記・試算表作成などの基礎処理を正確に実施できる能力を身につけるとともに、日商簿記初級レベルの問題に対応できる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	小テストおよび期末試験により、簿記の基本概念の理解度、仕訳処理・帳簿記入・決算手続の正確性および一連の処理の修得度を総合的に評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	上場企業および医療法人にて経理・財務責任者として業務を行う。					
テキスト・参考文献	初学者・留学生が合格できる「全経簿記」					
関連科目	簿記演習 II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記の概要と目的 2. 資産・負債・純資産の基礎理解 3. 収益・費用の認識と分類 4. 仕訳の基本ルール 5. 現金・預金取引の仕訳 6. 商品売買取引の仕訳 7. 掛取引と債権債務管理 8. 手形取引とその他の取引 9. 帳簿記入と転記の方法 10-11. 試算表の作成 12-13. 決算の流れと整理仕訳 14-15. 決算整理(減価償却・引当金等) 16-17. 精算表の作成 18. 帳票と証ひょうの理解 19-20. 総合問題演習と試験対策 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス英語Ⅱ			科目コード	28150801																																																																					
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携																																																																				
	必修演習	2年	前期	30	1	無																																																																				
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中で、企業において外国人の採用が積極的に行われている。日本で日本人と一緒に勤務する上では日本語コミュニケーション力が必要であるが、海外展開をしていく上では、共通語である英語コミュニケーション力の向上を目指すことを目的とする。																																																																									
到達目標	科学・技術・工学・芸術・数学(STEAM)に関する話題を扱った30秒程度のCNNニュースを題材として、身近な問題を英語で考える。																																																																									
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)																																																																									
評価基準	確認テスト: 単元ごとの単語テストを行う。 提出物: 決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験: 単元ごとの翻訳、まとめ問題、単語等の科目試験を行う。その試験結果により判定し評価する。																																																																									
担当教員	川口 芳子			常勤																																																																						
実務経験者による授業	実務経験: 米国大学卒業後、英会話教室にて幼児～高校生までに英会話を教えていた経験を活かし、学生が、留学生が就職する時に必要なビジネス英会話が理解できるよう講義する																																																																									
テキスト・参考文献	大学生のためのCNNニュース・リスニングSTEAM教育編 川崎和基 朝日出版社																																																																									
関連科目	ビジネス英語Ⅰ																																																																									
授業計画	<table border="0"> <tr><td>1</td><td>Unit1</td><td>A Robot That Can Do Backflips</td><td>Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>2</td><td>Unit2</td><td>Bring Back the Mammoth</td><td>Science/Technology</td></tr> <tr><td>3</td><td>Unit3</td><td>High-Tech Implants for the Brain</td><td>Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>4</td><td>Unit4</td><td>Unique Bridge in Vietnam</td><td>Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>5</td><td>Unit5</td><td>On the Hunt with Pokemon Go</td><td>Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>6</td><td>Unit6</td><td>Beetle Gives Hints on Toughness</td><td>Science/Engineering/Technology</td></tr> <tr><td>7</td><td>Unit7</td><td>Successful Test of Fling Car</td><td>Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>8</td><td>Unit8</td><td>Quadriplegic Uses Brain Tech</td><td>to to Walk</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>Science/Technology/Engineering/Arts</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>Unit9</td><td>Google Maps Gets Ecofriendly</td><td>Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>10</td><td>Unit10</td><td>Stone Age Musical Instrument</td><td>Science/Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>11</td><td>Unit11</td><td>Concerts Staged by Hologram</td><td>Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>12</td><td>Unit12</td><td>A Selfie in Your Coffee</td><td>Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>13</td><td>Unit13</td><td>World's Largest Water Gun</td><td>Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>14</td><td>Unit14</td><td>FDA Approves 3D-Printed Pill</td><td>Science/Technology/Engineering</td></tr> <tr><td>15</td><td>Unit15</td><td>USA Beats Japan in Robot Fight</td><td>Technology/Engineering/Arts</td></tr> <tr><td>16</td><td>まとめ</td><td>Unit1～Unit15まとめ</td><td></td></tr> </table>						1	Unit1	A Robot That Can Do Backflips	Technology/Engineering	2	Unit2	Bring Back the Mammoth	Science/Technology	3	Unit3	High-Tech Implants for the Brain	Technology/Engineering	4	Unit4	Unique Bridge in Vietnam	Technology/Engineering	5	Unit5	On the Hunt with Pokemon Go	Technology/Engineering	6	Unit6	Beetle Gives Hints on Toughness	Science/Engineering/Technology	7	Unit7	Successful Test of Fling Car	Technology/Engineering/Arts	8	Unit8	Quadriplegic Uses Brain Tech	to to Walk			Science/Technology/Engineering/Arts		9	Unit9	Google Maps Gets Ecofriendly	Technology/Engineering	10	Unit10	Stone Age Musical Instrument	Science/Technology/Engineering/Arts	11	Unit11	Concerts Staged by Hologram	Technology/Engineering/Arts	12	Unit12	A Selfie in Your Coffee	Technology/Engineering/Arts	13	Unit13	World's Largest Water Gun	Technology/Engineering/Arts	14	Unit14	FDA Approves 3D-Printed Pill	Science/Technology/Engineering	15	Unit15	USA Beats Japan in Robot Fight	Technology/Engineering/Arts	16	まとめ	Unit1～Unit15まとめ	
1	Unit1	A Robot That Can Do Backflips	Technology/Engineering																																																																							
2	Unit2	Bring Back the Mammoth	Science/Technology																																																																							
3	Unit3	High-Tech Implants for the Brain	Technology/Engineering																																																																							
4	Unit4	Unique Bridge in Vietnam	Technology/Engineering																																																																							
5	Unit5	On the Hunt with Pokemon Go	Technology/Engineering																																																																							
6	Unit6	Beetle Gives Hints on Toughness	Science/Engineering/Technology																																																																							
7	Unit7	Successful Test of Fling Car	Technology/Engineering/Arts																																																																							
8	Unit8	Quadriplegic Uses Brain Tech	to to Walk																																																																							
		Science/Technology/Engineering/Arts																																																																								
9	Unit9	Google Maps Gets Ecofriendly	Technology/Engineering																																																																							
10	Unit10	Stone Age Musical Instrument	Science/Technology/Engineering/Arts																																																																							
11	Unit11	Concerts Staged by Hologram	Technology/Engineering/Arts																																																																							
12	Unit12	A Selfie in Your Coffee	Technology/Engineering/Arts																																																																							
13	Unit13	World's Largest Water Gun	Technology/Engineering/Arts																																																																							
14	Unit14	FDA Approves 3D-Printed Pill	Science/Technology/Engineering																																																																							
15	Unit15	USA Beats Japan in Robot Fight	Technology/Engineering/Arts																																																																							
16	まとめ	Unit1～Unit15まとめ																																																																								
事前事後学習																																																																										

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション技法 I			科目コード	28160501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	Powerpointやプレゼンテーションを基礎として、キャリア実習 I で経験してきた内容を、外部向けにpowerpointを用いてスライドを作成し、発表を行う。					
到達目標	PowerPointを使用してスライドを作成し、キャリア実習報告会で発表ができるようにプレゼンテーション力を身につける。					
評価項目	実技(95%), 出欠席(5%)					
評価基準	実技の発表では、話し方、姿勢、表情、声の大きさ、内容で5段階評価のシートを使い評価を行う。					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	パソコン演習 II (Excel/PowerPoint) インターンシップ実習 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 効果的なプレゼンテーション 2 キャリア実習発表のプレゼンテーションの意義 3 キャリア実習プレゼンテーション準備 4 中間報告 5 キャリア実習プレゼンテーション準備 6 キャリア実習報告会 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	インターンシップ実習 I			科目コード	28170301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修実習	2年	前期	35	1	有
授業の概要・目的	学校で学んだ専門知識を活かして、日本の企業でインターンシップ実習を経験することを目的とする。					
到達目標	日本企業で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。					
評価項目	実習先評価(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	実習先からの評価					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	インターンシップ実習 II					
授業計画	企業内実習					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	実習事前・事後指導 I			科目コード	28170101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	25	1	無
授業の概要・目的	インターンシップ実習 I において、まずは日本企業で働くということはどういうことかを理解し、学内で事前学習を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。					
到達目標	実習の目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。					
評価項目	企業研究(20%), 日誌(20%), 振り返りレポート(10%), プレゼンテーション(45%), 出欠席(5%)					
評価基準	実習成果報告会の成果					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	インターンシップ実習 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 業界研究・企業研究 3. 事前指導(一日の流れ、マナー等) 4. 実習の目標設定 5. 事後指導(お礼状、お礼メール) 6. 目標に対する振り返り 7. 実習成果報告会 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	日本語能力試験Ⅲ			科目コード	28120301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	45	3	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。</p> <p>語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。</p> <p>日本語能力試験JLPTの試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験(85%),提出物(10%),出席率(5%)					
評価基準	期末試験:対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「日本語能力試験ベスト総合問題集」ジャパントイムズ					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅳ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語知識(文字)(語彙)(文法) 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	キャリア知識Ⅱ		科目コード	28150401		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	45	2	無
授業の概要・目的	<p>日本で社会人になることを目的とし、そのために必要なビジネスマナーと、就職試験のSPIIIに向けた基礎学力の定着を計る。</p> <p>テキストで日本のビジネスマナーを学習し、すららネット日本の中学レベル日本語、数学の習得を目指す。</p>					
到達目標	<p>日本で働くために必要な日本の習慣やマナーについて理解し、実践できる。</p> <p>就職試験のSPIなどの学力試験に対応できる。</p>					
評価項目	<p>期末試験(80%)、提出物(15%)、出欠席(5%)</p>					
評価基準	<p>テキストも単元終了ごとに確認テストを行う。</p> <p>期末試験はすららネットの内容とテキストの内容の両方から出題する。就職活動の準備をおこなうため、履歴書、自己PRシートを提出課題とする。</p>					
担当教員	小田 佑実		常勤			
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	キャリ基礎ⅠⅡ キャリ知識Ⅰ ビジネス実務Ⅴ ビジネス実務Ⅵ					
授業計画	第1章 ビジネスマナーの基本 第2章 社内のビジネスマナーとルール 第3章 電話のマナー 第4章 対応のマナー 第5章 ビジネス文書の基本マナー 第6章 慶弔・贈答・会食のマナー 第7章 国際ビジネスマナー					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語知識ⅡA			科目コード	28100701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	日本語能力試験N2レベル相当の漢字・語彙を習得することを目的とする。 日本人と同等に就職するため、日本人高校卒業程度の漢字を身に付ける					
到達目標	Iに引き続き、日本社会で働く上で必要なレベルの日本語の語彙、文法を場面や状況に合わせて表現できる。					
評価項目	期末試験(75%) 語彙テスト・確認テスト(20%) ,出欠席(5%)					
評価基準	語彙テスト・確認テスト:各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。 期末試験:N2レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「TRY!日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N2」ABKアジア学生文化協会 「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニングN2」アルク出版					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 言語知識ⅠA ⅠB 言語知識ⅡB					
授業計画	Unit1 名詞A N2レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit2 動詞A N2レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit3 形容詞A N2レベルの基本的な形容詞の意味が分かる Unit4 名詞B1. N2レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit4 名詞B② N2レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit5 カタカナA N2レベルの基本的なカタカナの意味が分かる Unit6 副詞A+接続詞 N2レベルの基本的な福祉・接続詞の意味が分かる Unit7 名詞C N2レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit8 動詞B N2レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit9 カタカナB N2レベルの基本的なカタカナの意味が分かる Unit10 形容詞B N2レベルの基本的な形容詞の意味が分かる Unit11 名詞D N2レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit12 動詞C N2レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit13 副詞B+連体詞 N2レベルの基本的な副詞・連体詞の意味が分かる					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語知識ⅡB			科目コード	28100801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	日本語能力試験JLPTN2取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通した、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、コミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	Iに引き続き、様々なトピックの読解問題を通し、グループワークで文章読解力と日本語でのコミュニケーション力を身につける。					
評価項目	期末試験(75%),確認テスト(20%),出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:テキストの読解問題から出題					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	必ずできる! JLPT読解N2					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 言語知識ⅠA ⅠB 言語知識ⅡB					
授業計画	STEP3 Level5 ウォーミングアップ Level6 練習問題					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション技法Ⅱ			科目コード	28160601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	プレゼンテーション技法Ⅰに引き続き、Powerpointやプレゼンテーションを基礎として、キャリア実習Ⅰで経験してきた内容を、外部向けにpowerpointを用いてスライドを作成し、発表を行う。					
到達目標	PowerPointを使用してスライドを作成し、キャリア実習報告会で発表ができるようにプレゼンテーション力を身につける。					
評価項目	実技(95%), 出欠席(5%)					
評価基準	実技の発表では、話し方、姿勢、表情、声の大きさ、内容で5段階評価のシートを使い評価を行う。					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	パソコン演習Ⅱ(Excel/PowerPoint) インターンシップ実習Ⅰ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 効果的なプレゼンテーション 2 キャリア実習発表のプレゼンテーションの意義 3 キャリア実習プレゼンテーション準備 4 中間報告 5 キャリア実習プレゼンテーション準備 6 キャリア実習報告会 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	通訳Ⅳ			科目コード	28110801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	日本で就職する上で必要な文章力、表現力、会話力身につける。敬語の意味や使い方を学びながら実際の日本のビジネス社会に必要な文章や会話で表現できるようにする。文書検定(4級・3級)の合格を目標とする。また、日本人学科の学生との交流授業で、日本語を理解し、自分の意見や考えを日本語で伝え、グループで発表できるようにする。					
到達目標	Ⅲ引き続き、日本でのビジネスに必要な基本的な知識を身につける。敬語の意味や使い方を学習しながら、実際の会話で使う練習をする。日本人学科との合同授業において、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行って文書を作成し、発表する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:文書検定3級レベルの問題より出題し、その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	基礎から学べる!文章カステップ文章検3級対応 基礎から学べる!文章カステップ 文章検3級対応 公益財団法人 日本漢字能力検定協会					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳Ⅰ Ⅱ Ⅲ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB					
授業計画	1 第1章基礎力(語彙・文法) 2 第2章読解力(資料分析等) 3 第3章作成力(1)(書く力) 4 第4章作成力(2)伝える力 5 第5章作成力(3)考える力					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Javaプログラミング演習 I			科目コード	28130701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	基礎的な文法、考え方を身につけJavaプログラミング能力認定試験3級を取得することを目的とする。					
到達目標	サーティファイ主催「Javaプログラミング能力認定試験3級」に合格できる力を養う。また、各自でプログラムが組めるよう技術を身につける。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: Java3級に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	若林 潤一			非常勤		
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経てWEBサービス会社の社長COOとして従事した後独立。Webシステムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。					
テキスト・参考文献	スッキリわかるJava入門 第4版 インプレス スッキリわかるJava入門 実践編 第4版 インプレス					
関連科目	Javaプログラミング演習 II					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●第I部 ようこそJavaの世界へ chapter 1 プログラムの書き方 chapter 2 式と演算子 chapter 3 条件分岐と繰り返し chapter 4 配列 chapter 5 メソッド chapter 6 複数クラスを用いた開発 ●第II部 スッキリ納得 オブジェクト指向 chapter 7 オブジェクト指向をはじめよう chapter 8 インスタンスとクラス chapter 9 さまざまなクラス機構 chapter 10 継承 chapter 11 高度な継承 chapter 12 多態性 chapter 13 カプセル化 ●第III部 もっと便利にAPI活用術 chapter 14 Javaを支えるクラスたち chapter 15 文字列と日付の扱い chapter 16 コレクション chapter 17 例外 chapter 18 まだまだ広がるJavaの世界 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	簿記演習Ⅱ			科目コード	28141201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	商業簿記の一連の処理手順と帳簿作成の実務技能について理解し、事務業務で必要となる仕訳・帳簿記入・決算処理を正確に実施し、数値を用いた業務判断ができるようになる。					
到達目標	日商簿記3級レベルの出題範囲に基づき、取引の仕訳処理や帳簿転記、試算表・精算表作成を正確に操作でき、問題演習を通じて解答手順を再現し、合格水準の得点を安定して達成できる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験および小テストにより、仕訳処理・帳簿作成・決算手続に関する実施能力、問題演習における正答率および解答スピード、継続的な修得度を総合的に評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	上場企業および医療法人にて経理・財務責任者として業務を行う。					
テキスト・参考文献	初学者・留学生が合格できる「全経簿記」					
関連科目	簿記演習Ⅰ					
授業計画	1.簿記基礎の確認と仕訳演習 2.現金・預金取引の演習 3.商品売買取引(分記法)の演習 4.掛取引と債権債務の演習 5.手形取引の演習 6.その他取引(経費・固定資産)の演習 7.帳簿記入と転記演習 8-9.試算表作成演習 10-11.決算手続の基礎演習 12-13.決算整理(減価償却・引当金等)の演習 13-15.精算表作成演習 16-17.財務諸表作成演習 18.総合問題演習(基礎) 19-20.総合問題演習(応用)					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Webサイト制作演習Ⅲ(HTML,CSS)			科目コード	28131301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	Webアプリケーションのフロントエンド部分の開発を行うために必要不可欠なHTMLとCSSの技術について学習し、複数ページに渡るWebサイトを個人の力で作れることを目的とする。					
到達目標	ブラウザを利用して、パソコン・タブレット・スマホ等の様々な環境で閲覧できるWebページを自分で構築し、インターネットに公開できるようになる。日本人学科の学生との合同授業の中で、日本人学生と協働してホームページの作成を行う。					
評価項目	期末試験(70%)、制作物(20%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	制作物:Webページを作成しプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。 期末試験:HTML+CSSの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	30時間でマスター Webデザイン 改訂版 (実務教育出版株式会社)					
関連科目	Webサイト制作演習Ⅰ Webサイト制作演習Ⅱ JavaScript演習					
授業計画	3章 CSSの基礎 1. CSSの基本 2. 文字要素のCSS 3. 背景の指定 4. ボックスモデル 5. Webページのレイアウト 4章 Webサイトの制作 1. Webサイトの企画 2. HTMLのマークアップ 3. トップページデザイン 4. 問い合わせページ 5. レスポンシブデザイン ※合同制作(日本人学生と合同制作)					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	システム制御演習 I			科目コード	28132301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	企業においては、製造部門ではシーケンス制御装置が多用されており、設計・開発部門では、CADやCAEなど支援ツールを活用して製品開発を行う場面が多くなってきている。本講義では、機械制御の実際と実機を利用して工場の制御システム及びPLC言語の基礎を学習する。					
到達目標	三菱メルウェアラダーソフトを使用し、ラダー言語のプログラミング技術を修得する。					
評価項目	期末試験(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	制御システムとPLC言語の基礎を理解できている。					
担当教員	玉置 順一			非常勤		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	・教師作成資料配布					
関連科目	システム制御演習 II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. シーケンス制御の基礎 2. シーケンス制御の基礎 3. シーケンス制御の基礎 4. シーケンス制御の基礎 5. シーケンス制御の基礎 6. ラダー言語演習 7. ラダー言語演習 8. ラダー言語演習 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	パソコン演習Ⅳ			科目コード	28160401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	MicrosoftのOffice (Word、Excel) のパソコン実務操作スキルを身に着け、作業の効率化・スピードアップすることができる。					
到達目標	【指導方法】 ・Word、Excelを使い、ビジネス文書や資料の効率のよい作成の仕方を指導する。 【学生に期待すること】 ・効率よく資料を作成するスキルを身に着ける。					
評価項目	課題(75%)、・提出物(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	Word、Excelを使ったビジネス文書や資料を効率よく作成することができる。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	・Officeソフトで作る文書ドリル(Noa出版) ・実践ドリルで学ぶOffice活用術(Noa出版)					
関連科目	パソコン演習Ⅰ パソコン演習Ⅱ パソコン演習Ⅲ					
授業計画	Wordを使った文書作成 ① 製品案内状 ② 送付状 ③ 議事録 ④ 取引契約書 ⑤ 出張申請書 ⑥ テニス大会のご案内 ⑦ 御見積書 ⑧ オセアニアの旅 Word、Excelを使った資料作成 ① 成績一覧表 ② あなたは健康ですか？					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	情報セキュリティ概論			科目コード	28130401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	インターネット上の「悪意ある攻撃」などから大切なデータや個人情報を守るための情報セキュリティとデータベース、ネットワークに対する問題解決を理解することを目的とする。					
到達目標	情報セキュリティ、データベース、ネットワーク、について基本的な知識を身につけ、専門用語を理解することができる。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: 情報セキュリティ概論に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術(シラバス9.0対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ コンピュータシステムⅢ					
授業計画	<p>1. <1章> データベース</p> <p>第1節 データのモデル化6</p> <p>第2節 データベース設計</p> <p>第3節 データの正規化</p> <p>第4節 SQLの基本</p> <p>第5節 SQLの応用</p> <p>第6節 データベースの演算</p> <p>第7節 データベース管理システム</p> <p>第8節 データベース応用</p> <p>2. <2章> ネットワーク</p> <p>第1節 ネットワーク方式</p> <p>第2節 OSI基本参照モデル</p> <p>第3節 TCP/IPプロトコル</p> <p>第4節 IPアドレス</p> <p>第5節 ネットワーク管理</p>					

第6節 TCP/IPアプリケーション

第7節 ネットワーク応用技術

3. <3章> 情報セキュリティ

第1節 情報セキュリティ

第2節 システムへの攻撃手法

第3節 暗号化技術

第4節 認証技術

第5節 セキュリティ技術

第6節 セキュリティリスク

第7節 セキュリティ管理

事前事後学習

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	経営学		科目コード	28141301		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	企業活動の基礎となる経営理論と組織運営の仕組みについて理解し、事務業務における判断や行動に活用しながら企業の課題を分析し適切に対応できるようになる。					
到達目標	経営資源・組織・戦略などの基本理論を説明でき、フィールドワークを通じて企業活動を観察・整理し、得られた情報をもとに課題を分析し具体的な改善案を示すことができる。					
評価項目	期末試験(75%) 提出物(20%)出席率(5%)					
評価基準	期末筆記試験により経営学の基礎知識の理解度および用語説明の正確性を評価し、あわせてフィールドワークの内容に基づく分析力と課題設定の妥当性を総合的に評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	企業の経営戦略室および医療法人経営企画室にて業務を行う。					
テキスト・参考文献	講師作成資料配布					
関連科目	経営マネジメント概論ⅠⅡ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.経営学の全体像と役割 2.企業の目的と社会的役割 3.経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報) 4.組織構造と役割分担 5.経営戦略の基礎 6.外部環境分析(市場・競争) 7.内部環境分析(強み・弱み) 8.フィールドワーク設計と調査手法 9-10.フィールドワーク実施①(企業・店舗観察) 11-13.フィールドワーク実施②(情報収集) 14-15.データ整理と分析手法 16-17.課題抽出と原因分析 18.改善提案の作成 19-20.発表内容の整理とまとめ 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	CAD演習Ⅳ			科目コード	28132201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	
授業の概要・目的	2次元CAD利用技術者基礎試験の合格に向けて、6つの章から成り立つ範囲の理解、CADだけではなく、ネットワーク、セキュリティ、法律、図形も身に付ける。					
到達目標	2次元CAD利用技術者基礎試験の合格に向けて、CADと製図の基本技術を身につけることができる。					
評価項目	期末試験(55%)、課題提出(40%)、出席率(5%)					
評価基準	単元終了ごとに確認テストを実施するため、その評価も含める。					
担当教員	玉置 順一			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	2025年度版 CAD利用技術者試験 2次元2級・基礎公式ガイドブック					
関連科目	CAD演習ⅠⅡⅢ					
授業計画	1 第1章 CADシステムの知識と利用 2 第2章 CADシステムのプラットフォーム 3 第3章 CADシステムの関連知識 4 第4章 製図の知識 5 第5章 図形 6 問題演習					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	貿易実務 I			科目コード	281409	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	国際取引の基本構造と貿易実務に必要な手続きや書類の知識について理解し、輸出入業務の流れを把握しながら事務業務として適切に対応できるようになる。					
到達目標	貿易取引の基本用語や取引条件、輸入手続きの流れを説明でき、インボイスやパッキングリストなど主要書類の役割を理解し、貿易事務の基礎業務を適切に実施できる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末筆記試験により、貿易実務に関する基礎知識の理解度、用語説明の正確性、取引手続きの理解および書類の役割に関する判断力を総合的に評価する。					
担当教員	須藤 のどか			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	よくわかる貿易実務入門					
関連科目	労務管理 I II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.貿易実務の全体像と役割 2.国際取引の基本構造 3.貿易取引の流れ(輸出入の概要) 4.貿易条件(インコタームズ)の基礎 5.契約条件と決済方法 6.輸出業務の流れ 7.輸入業務の流れ 8.インボイスの役割と内容 9.パッキングリストの役割と内容 10-11.船積書類と輸送手続き 12-13.通関手続きの基礎 14-15.保険とリスク管理 16-17.貿易に関する法規制の基礎 18-19.貿易実務のケーススタディ 20.総復習 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅱ			科目コード	28170401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修実習	2年	後期	70	2	有
授業の概要・目的	学校で学んだ専門知識を活かして、専門分野でのインターンシップ実習を経験することを目的とする。					
到達目標	日本の企業のIT分野またはビジネス分野でOJTによる社会人経験を積む。主体的な学習を通して、企業で求められるスキルに対してコミットできる力を身につける。					
評価項目	実習先からの評価(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	実習先からの評価					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	実習事前・事後指導Ⅱ					
授業計画	企業内実習					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	実習事前・事後指導Ⅱ		科目コード	28170201		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	インターンシップ実習Ⅱにおいて専門的な分野での実習の目的や学びを理解し、学内で事前学習を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。					
到達目標	インターンシップⅡの目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。					
評価項目	企業研究(20%) 日誌(20%) 振り返りレポート(10%) プレゼンテーション(45%) 出欠席(5%)					
評価基準	実習成果報告会の成果					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目	インターンシップ実習Ⅱ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 業界研究・企業研究 3. 事前指導(一日の流れ、マナー等) 4. 実習の目標設定 5. 事後指導(お礼状、お礼メール) 6. 目標に対する振り返り 7. 実習成果報告会 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	日本語能力試験Ⅳ			科目コード	28120401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	50	2	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。</p> <p>語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。</p> <p>日本語能力試験JLPTの試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験(85%) 提出物(10%)出席率(5%)					
評価基準	期末試験:対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「日本語能力試験ベスト総合問題集」ジャパントイムズ					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語知識(文字)(語彙)(文法) 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練 					
事前事後学習						